

# 地質調査所の 各部課を尋ねて

— 4 —

(地質部その3)

## 工業用水

地下水の調査研究は 昭和29年から各部課協力のグループ組織で継続して行ってきたが さらに時代の要請に答えるため 独立の水調査部門として 昭和32年11月地質部に工業用水課を設置した。

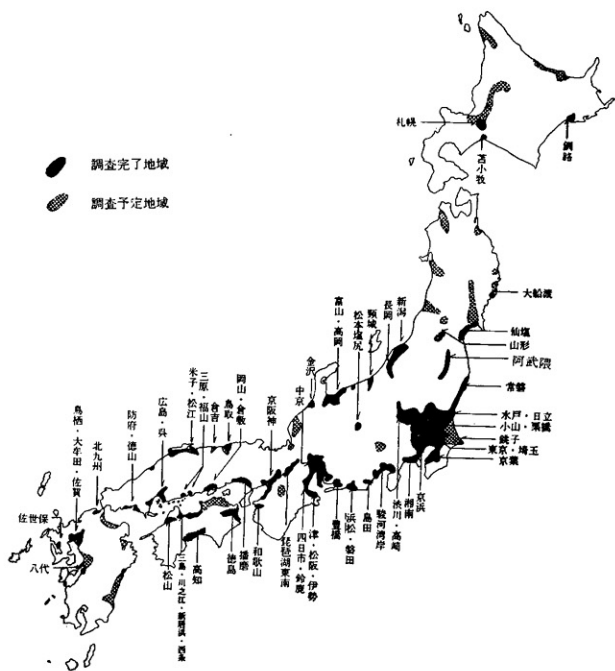
同課では主として 既存工業地帯および未開発工業地域の水地域調査 水保全の対策研究 工場の井戸管理などをテーマとし 調査人員は兼務を含めて16名で 物理探査部 技術部の協力を得て調査研究を行っている。

## 水理地質調査研究

昭和26年から現在までに 本邦主要工業地帯を含む80に余る地域の水調査（とくに地下水調査）が実施された。調査研究は物理探査 水質分析 さく井調査などを含み総合的に行っている。

### 水比抵抗の測定

地下水の流動方向 あるいは流動状態を知るためには 水位測定法・水温測定法・水比抵抗測定法・化学成分を測定する方法などがある そのうち水比抵抗を測定する方法は 短時間のうちに簡便に多数の点が調査でき しかも有効に流動方向・流動状態だけでなく 表流水との交渉状態までが理解できる



工業用水源調査の進捗状況を示す図(1960-6)

## 河川表流水からの地下水供給量の調査研究

河川表流水の地下水供給量を求めるための流量調査および水文調査 河川表流水と密接なる関係を持っている地下水(伏流水を含む)調査 全国主要地域における地下水位の経年観測などを行っている。流量調査は本邦

### 深井戸の水位測定

深井戸の水位を測定するには マグネットベル・メガー・テストなどを用いる 写真の深井戸は ポンプを取りはずした状態であり 水位測定が容易に行えるが 普通は各種のポンプが取り付けられていて 測定は必ずしも容易でない



